

# 安倍長期政権の可能性

「インサイドライン」編集長 歳川隆雄

- \*本質は「安麻内閣」
- \*「平成の桂園時代」の可能性も
- \*一連託生の証しの官邸人事
- \*外交の中核を担う「チーム谷内」
- \*決断のできるリーダーになった
- \*午餐会メニューから読めること
- \*「後継問題なし」が強み
- \*安倍政権には中長期の工程表がある
- \*9月に大幅内閣改造はない
- \*「ひたすら経済優先」で



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
私は、先週、浅野前理事長から話がありましたように5月27日の理事会で理事長に選出されました柴生田晴四と申します。皆さんのお世話をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。（拍手）

**今日**は皆さんよくご存じの歳川さんに現在の政治の状況についてお話をさせていただきます。現在、政治のことを語れる人は少なくなりまして、歳川さんは日本の政治の裏表に通曉されているだけでなく、海外の状況についてもしっかりした理念の下で活動をされておられます。今日も安倍政権の実情について、縦横にお話しただけだと思います。では歳川さん、よろしくお願いたします。（拍手）

**歳川** 毎年6月頃には皆様とお話しさせていただいています。振り返ってみますと、毎年私がお話しする時期には政権が代わっている。昨年6月は民主党政権時代でした。ですから、その時点その時点で、比較的新しい話を私から聞くことができるということになります。

さて、昨年12月に発足した第二次安倍内閣ですが、意外と簡単なことなのに、主要メディアが指摘しないことから話を始めます。これが、実は第二次安倍内閣の本質ではないかと私は見ているからです。

昨年12月、第二次内閣発足に当たって、朝日新聞から「あなたはこの内閣にどういうメッセージを付けますか」とコメントを求められました。私は「安麻内閣」と答えました。「安」は安